



【阿部山の魅力を探ろう】

11月29日(月)に、6年生は、総合学習で取り組んでいる「阿部山の魅力を探ろう」の学習で、阿部山分校、阿部神社、阿部山キャンプ場に見学に行きました。タクシーに分乗して到着した阿部山分校では、食糧増産のために開墾が始まった阿部山に昭和19年に7歳で入植された中原義夫さんが、自作の資料を持って来てくださり、当時のくらしや分校の様子などの貴重な話をたくさんしてくださいました。また、試行錯誤を重ねながら花卉(かき)栽培に取り組み、県下有数の産地として出荷しているエニシダ、ユーカリ、ヒバ、アカシアなども見せてくださいました。



次に、分校近くの阿部神社を訪れました。この神社は、安倍晴明と天御中主神(あめのみなかぬしのかみ)が奉られており、地区の方が大切に管理して、神社の周囲まできれいに整備されていました。

最後に、阿部山キャンプ場に向かいました。移動途中には、花卉栽培をしている畑も見ることができました。キャンプ場は、6年生が訪れるということで、地域の方々が事前に広場をきれいに整備してくださっていて、思い切り遊ぶことができました。学区の魅力を学ぶことができ、大変有意義な学習になりました。お世話になった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。この特色ある郷土学習は、6年生の年間学習予定に位置付け、今後も継続していきます。



【人権スポーツふれあい教室】

11月25日（木）に、岡山県の事業である「人権スポーツふれあい教室」が本校で実施されました。この事業は、子どもたちとスポーツ選手等との交流の場を設け、スポーツ選手等から子どもたちに思いやりの大切さやいじめ問題に関する体験談などのメッセージを伝えることにより、子どもたちの人権についての理解を深める目的で行われています。本校には、女子サッカーのなでしこリーグで活躍されている「吉備国際大学Charme（シャルム）岡山高粱」のチームから選手とスタッフの5名が来校していただき、5・6年生にサッカーの基本的な技術を教えてくださいました。また、チームに分かれて練習試合を楽しみました。



その後体育館に移動して、チームで協力することや相手を思いやることの大切さについて選手から話を聞いたり、子どもたちからの質問に答えてもらったりしました。クリアファイルのプレゼントがあり、子どもたちは大喜びでした。



最後に、参加して下さっていた人権擁護委員の代表者から人権についての話を聞き、参加者全員で記念撮影をして終わりました。児童にとって貴重な体験と学びの場になりました。

